

**「八王子市地域づくり推進基本方針2024改定版(素案)」についての
意見募集(パブリックコメント)の実施結果について**

1 実施結果

(1)提出者数 4名 (郵送 0名、FAX 1名、電子メール 3名、窓口提出 0名)

(2)意見数 10件

提出があった意見書の内2名(4件)の意見については、「八王子市地域づくり推進基本方針 2024 改定版(素案)」に対する内容でなく具体的な施策や業務に関する意見であったことから、本意見募集(パブリックコメント)の意見として扱わないこととしています。

2 ご意見及び市の考え

No.	ご意見	市の考え
1	「地域の課題解決」に努める活動は大賛成です。	ご賛同ありがとうございます。 プラットフォームによる話し合いや地域の内外における多様な地域の担い手や活動のつながりにより、地域の主体的な取組による地域の課題解決等に繋げていく考えです。
2	素案については賛成します。	
3	自発/自前/自在について私の理解が違っているかもしれませんが自前の原則は同意しかねます。	人材・財源・情報といった自前の地域資源をまず活用するという「自前の原則」だけでなく、他の2つを含めた地域づくりの3原則を地域の実情に合わせて適切に実現することで、持続可能な地域づくりを進めていく考えです。
4	プラットフォームについては持続が困難だと思います。	地域づくりの3原則を地域の実情に合わせて適切に実現することで、地域に「想い」を持つ市民等が”我がこと”として考え、プラットフォームを運営することにより、持続可能なものになると考えます。
5	人口減少の動向を予測し、地域づくりの行政単位を早く決めて、この事業を進めていくのが良いと思います。	地域づくりの最小単位を原則中学校区としつつ、既存組織の範囲に応じた地域の特性を踏まえた圏域の設定を可能なものとしております。 地域づくりの取組を行うにあたっては、地域の特性を踏まえ、柔軟にすすめて行く考えです。
6	未来デザイン 2040 に掲げている地域自治、DX、カーボンニュートラル等の目指す方向性を、市長が早急に示すことにより、この事業がスムーズに進んでいくと思います。	多くの声をもとに描いた姿をみんなで共有し、その実現に向けて取り組んでいくための「未来の八王子」の設計図として策定された「八王子未来デザイン 2040」について、その実現に向け、持続可能な行財政運営のもと 37 の施策に取り組んでいく考えです。

7	P3 の(3)行政とプラットホームの中間の組織を、行政と地域の代表で立ち上げる(川口事務所に川口地域づくり推進課か推進部を立ち上げる)。	プラットフォームは、地域が主体的に運営し、地域に「想い」を持つ市民や活動団体、そして子どもから高齢者、学生、外国人、障害者、企業、大学、行政がつながり、連携・協働しながら進めていくこととしていることから、行政とプラットフォームの中間の組織を立ち上げることは本方針では考えておりません。
8	P6 地域づくりの3原則はこれまでの行政のあり方であり、プラットホームの構築に向けて行政の資源を文言で表現してほしい。	プラットフォームの構築にあたっては、町会・自治会等の地縁組織と NPO、企業、大学、行政等があらたにつながり、連携・協働する必要があると考えています。行政は、協働の一員として、地域内外の資源のマッチングや活動を阻害する要因を取り除く等の支援を行っていく考えです。
9	P7 プラットホームの運営は参加者が主体的に運営するためには地域づくり推進課か部が運営のフォローをしていかなければ難しい。	地域からの発意により設置されるプラットフォームについて、参加者が主体的に運営し課題解決に取り組むことができるよう協議しながら、必要に応じて伴走方法や伴走期間について検討していく考えです。
10	プラットフォームの設置について、拠点地として、市民センターの拠点を持つ住民協が、川口の場合適していると考え。コミシンが管理しているが、更新時に川口地域づくりの会に移行か、住民協か、NPO をつくるかでしょうか。組織はスリムなことが大事。	プラットフォームの設置については、原則中学校区としつつ、住民協議会・学校運営協議会・町会自治会連合会などの既存組織の範囲に応じ、地域の特性を踏まえた圏域の設定を可能としており、柔軟にすすめていく考えです。